学校番号	1011

令和８年度　学ネイチャーテクノロジー

教科	学ﾈｲﾁｬｰﾃｸﾉﾛｼﾞｰ	科目	情報デザイン講座	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

情報デザインとは、伝えたい内容や表現したいことのさまざまな要素に秩序を与え、情報を発信する側に立ってより適切な形を考え、実現することです。これは情報の専門的な仕事についている人だけでなく、毎日の生活の中で誰もが行っていることでもあります。

デザインの形は決まった方程式のようにあるのではなく、問題と答えはケースバイケースで存在しています。といっても、デザイン＝芸術的なもの、特別な才能や必要とされるもの、と難しく考える必要はありません。大切なことは自分の直面する問題に対して「何をデザインで解決するのか」という目的をはっきりもつことです。日常のいろいろな場面にひそんでいる情報デザインを発見し、意識して問題を解決できる力を身に付けましょう。

2　学習の到達目標

（１）情報のより効果的な伝達方法について体系的に理解し、それに関連する技術を身に付ける。
（２）情報デザインの手法、構成に関する課題を発見し、実践的な課題を創造的かつ合理的に解決する力を身に付ける。
（３）コンテンツやインターフェースのデザインの構築に主体的、協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	適切な伝達を行うための知識について理解し，情報デザインの構築に関する技能を身に付けるとともに、社会の様々な場面における情報デザインと人間の関わりについて理解している。	情報伝達やコミュニケーションの場面における情報デザインの手法、構成について課題を発見し、科学的な理解に基づき、情報デザインの知識と技術を効果的に活用して課題を解決することができる。	情報社会において製品やサービスが利用される環境と情報デザインの関わりについて自ら学び考えながら、情報デザインによる問題解決に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	ビジュアルデザイン	・メディアの種類と特性 ・さまざまな表現手法と心理に与える影響	a:形態や色彩の特性について理解するとともに、それらを情報デザインに活用することができる。 b:利用者への情報の提示や行動の誘導における課題を発見し、形態や色彩が人間の心理に与える影響を利用して創造的に解決することができる。 c:情報伝達やコミュニケーションの演出について自ら学び、改善しようとしている。	小テスト PC 課題	小テスト ワークシート	ワークシート 授業態度
		・ビジュアルデザインに関するコンテンツの作成 ・ピクトグラムの作成 ・ポスターの作成	a:静止画のコンテンツの表現さ編集に関する知識について理解するとともに、その表現や編集を行うことができる。 b:社会におけるポスター、ピクトグラムに関する課題を発見し、表現に関する知識と技術を活用して創造的に解決することができる。 c:ポスター、ピクトグラムの作品の作成について主体的に取り組むとともに、自らの作品や他者の作品の評価から積極的に改善しようとしている。	ワークシート	ワークシート 作品	ワークシート 作品 授業態度
2学期	情報発信の工夫グループワークにおける情報の整理と発信	・情報の収集・整理 ・情報発信の工夫 ・インフォグラフィックの作成	a: 制作したグラフを効果的にデザインの中に組み込み、利用者がより興味を持って情報を得ることができる作品を作成することができる。 b:情報取集を効率的・効果的に行う手順について理解するとともに、目的に応じた適切な情報発信を選択することができる。 c:インフォグラフィックによる情報発信を積極的に行おうとしている。自分や他者の作品について課題を発見し、主体的に改善しようとしている。	ワークシート	ワークシート 作品	ワークシート 作品 授業態度

		グループで旅行企画をしよう ・情報の整理 ・情報収集の工夫 ・ポスター制作 ・簡単なプレゼン資料の作成 ・Excel をしようした予算シートの作成	a:情報を整理や発信するために適切なツールを選択し、作成することができる。 b:グループで議論を重ねて企画した旅行プランについて、第三者にわかりやすいよう、プレゼン資料やポスターなどを使って表現することができる。 c:グループで旅行を企画するにあたり、積極的に取り組もうとしている。	ワークシート 作品	ワークシート 作品	ワークシート 授業態度
3学期	パワーポイントを使った情報発信の工夫	Canva をつかったコンテンツ制作	a:ブラウザベースでチラシなどを制作できるツール「Canva」の使用方法を扱うことができる。 b:「Canva」を使ってチラシなどの作品を制作することができる。 c: ポスター作品の制作について主体的に取り組もうとしている。	ワークシート 作品	作品	作品 授業態度
		パワーポイントを使って発表 テーマ:「未来の自分を調べよう」 ・情報検索の基本 (AND・OR・NOT 検索) ・情報収集 ・パワーポイントの発展的な使い方(文字の工夫・型抜き) ・プレゼンテーションのコツ ・4分間のプレゼン	a:効率の良い情報検索の方法を理解し、自分が知りたい情報を適切に得ることができる。 b:パワーポイントの発展的な使い方を身につけ、自身が制作するプレゼンテーション課題に学んだことを表現することができる。 c:「未来の自分を調べよう」をきっかけに、自分の将来について具体的に考えるとともに、プレゼンテーションの際には聴衆をひきつけ、積極的な姿勢でのぞもうとしている。	ドキュメントデータ プレゼンテーションデータ	ドキュメントデータ プレゼンテーションデータ	プレゼンテーションデータ 授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度